

< 奨学生近況 >

<p align="center">*いよいよ、病院での実習が始まりました*</p> <p align="center">ー助産婦を目指すビーナとエステレリター</p> <p>夏休みを迎えて、大部分の奨学生は親元に帰りましたが、助産婦コース2年目に入るビーナとエステレリターは、ノビシエート寮に滞在して、ジェネラルサントス市内の病院での実習に入りました。</p> <p>助産婦とはいっても、現CMB医療責任者のジョジョのように、ボランティア医師の協力を得にくい遠隔地の巡回診療では、医師に代わり、あらゆる患者の訴えに対応しなくてははいけません。実習を通じて医療全般の技能を磨いて欲しいものです。</p>	 <p align="center">* 卒業おめでとう *</p> <p>民族衣装で、卒業証書を手にするアトゥモロック小学校卒業生5名。全員奨学生です。(関連記事P3)</p>
<p align="center">*ドリ先輩がんばりました*</p> <p>マーベルの寮を訪ねた私達のもとに、嬉しいニュースが届きました。ドリが政府資格試験合格者「board passer」になったというものです。大学の教職単位をとっただけでは助教諭待遇です。公立学校の教諭になるのに必須のこの試験に、HANDS奨学生の中から初めて合格者が出たことは、後輩達にもよい刺激になります。山の小学校の子供たちが抱えるハンディは数ありますが、教師の力量不足もその一つです。この6月、キアミ分校に赴任する英文科出身のドリには、この点でも期待しています。</p> <p align="center">*弁護士を目指すフェリッサもがんばっています*</p> <p>夢は大きく、しかし、なかなか実力が伴わないことが多い奨学生の中で、ラムクアのフェリッサ(通信27号参照)は、予想以上の好成績(85点-95点)で1年生を終了しました。</p> <p>入植者や開発業者とのトラブルが多い地域で、弁護士になって仲間のために働きたいというフェリッサの夢は、もしかしたら、夢で終わらないかもしれないと期待が高まります。</p>	<p align="center">* 残念!今年MSU合格者なし *</p> <p>MSU (Mindanao State University) は、前号でも紹介したように、モロやビラーン民族などの少数民族が合格しやすいように、一般の志願者より20点合格ラインを低く設定してある大学で、しかも、授業料が私立大学NDMUの5分の1程度と安いので、とりあえず、ハイスクール卒業生全員が挑戦しました。結果は誰も合格ラインの65点に達せず、改めて寮での補習授業などの対策が必要と感じました。</p> <p>学業半ばで結婚を強要する親を避けて、夏休みも寮で過ごしていたミエルナをはじめとして、卒業生7名中6名は、今も進学への希望は捨てないで、他の大学や専門学校入試に挑戦中と聞いています。</p> <p>先日CMBプロジェクトチームと検討した奨学生選考基準では、かなり学力を重視しました。入試可否とともに、その選考結果を待っているところです。</p>

アトモロック訪問記

「住民の、普通の、普段の生活を知りたい」。山奥のコミュニティーを1泊2日で訪ねるといのは、移動にほとんどの時間を取られてしまい、結局話を聞くことができるのは現地CMBスタッフからという状況が続いていた私は、冒頭のようなフラストレーションが溜まっていました。以下は念願かない5日間滞在することができたアトモロックの様子です。

(佐々木真紀子・事務局非常勤スタッフ)

1日目、ミヤソン寮の竣工式に出席。もうすでに学生が入寮しているが、式典は私たちの訪問を待っていてくれたのだ。花とリボンで飾りつけた門のところでテープカットをする。フィリピンでは最も暑くなる4・5月が夏休みのため学生の多くは帰郷していたが、近所に住む方々も見守ってくれている。女子寮・男子寮・ダイニングルームと3棟からなるこの立派な寮が、子供たちの学ぶ環境をより良くしてくれることを願う。終了後、馬でアトモロックへ移動。約2時間の旅だ。富士山のようなマトウトウン山のシルエットが美しい。途中銃を持ったビラーン人男性に会うが、狩猟用の銃で人を殺傷する能力は無いとのこと。後日やはり銃を持った男性の集団に会う。現在は農業に従事する男性がほとんどとはいえ、「狩猟」は男性たちにとって大きな喜びであり重要なことであるように感じた。獲物はイノシシ、シカ、鳥など。

2日目、アトゥモロック山麓のアグロフォレストリー事業を、メルトン神父と歩きながら説明してもらった。5年前に様々な果樹・樹木の苗を植えたあたりはすでに林になり、湿度が高く湿った空気でもっとする。まさに熱帯だ。乾燥し、まばらな林が広がる山に比べ、豊かな実りが期待できる。その後広い校庭で行われた小学校の卒業式に出席。卒業生5名は民族衣装で正装。父兄の出席は200名くらい。1~5年生の生徒たちもこの日の為に練習してきた歌とミュージカルを披露してくれた。ミュージカルは、低学年の生徒はビラーン人の夫婦の話をコミカルに演じ笑いをとっていた。高学